今人千部發句集

秋

今人千題發句集巻之三

梅室素志校正

生ノ美ヲ部

[illegible]

[illegible]

[illegible]

物ちきと名人の新撰や山蝶　樵山
名よ千や京の手前の蝶　子傳

蝶の夏と部

山里や蝶も秋　秋　万修
ひ〳〵や蝶と新しき蝶の秋　由楚
庭と池や白よりまさる蝶　検丁
蝶秋のひやもを蝶も一蝶　九紀
白ひて蝶と蝶の蝶の秋　金用

出千の序より物ちは蝶　雅春

蝶の秋

出千

孫ふみてちの出千ちくと
出千や庭ハ人石の咲さらし　朱水
ちり千や秋ちの蝶の蝶又林　由楚
出千の蝶井を降や山の白　古武名
出千や京古ハきたる新行と　庭古
出千の蝶ハ行と　雅夕

蝶と部

人形頃てまこと木槿ハ　尺外
ちく蝶を力る国ちと木槿ハ　安紀
槿とくと蝶のきたのちけハ　寺耕
赤ひて行人の蝶ちけ　春雅

木槿

[illegible]

一里ばかり[illegible]

[illegible]

つる先の家[illegible]

[illegible]

[illegible]

金吹

金吹や屏風の内の一ふしき　梅雪
金吹や時を過ても金箔屋　素交
ふき枝もなびかぬ吹や金のため　嶋花

うの華ふる郭

竹ぶりて袴つけるや強飯　柏梅
ひめしき大盃やうぶいきめ　素山
強ためさまき夢の奥ゆき　不角

獨

きり屠蘇獨活のそうめん白い小　蓊山

居

俎板千度什の老ゑ也芽獨活小　素九

梅や時ひよ怪我をきる和　風樣
稼ものうぶいきや結よ作ふ　一具
うぶいきや時て生まもきまる　風鈴
梅や書を出て時長ふし　梅金
梅や点をまるを白紙ある　兄外
うぶいきや長言て移紙の寿　一旭
梅をるの和よ痛兄ふ一飛手　物壺
梅葉捨てうぶいきまうし　根岳
うぶいきや一里の行て二ふ門　秋冨
暁のうぶいきを迄き山路ふ年　小山

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の芽の[illegible]をつきうつもれ[illegible]

獲物

梅うゑや梅一本[illegible]梅の中

[illegible]やまつ[illegible]うめて梅[illegible]

[illegible]やかうと梅の[illegible]

新屋[illegible]る白いやうめの[illegible]

時[illegible]暗[illegible]やまる[illegible]

うめ[illegible]くうちまる[illegible]の[illegible]

梅[illegible]やみき[illegible]を[illegible]

[illegible]梅の[illegible]

[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うの夏うち部

知月

帆柱の[illegible]なる月かな　卓袋
先くるる格子なる月かな　梅童
山水の青も初めつきかな　蒼虫
あくるりさるや月の月の格子　傳水

蛍庵

人行くて蛍庵の屋や海苔焼る　一茶
蛍くるる出てみるうちはぬるうちかな　卓池
乾きれて蛍籠の籠庵かな　苣九
稼先くさくさ出るうちうちかな　治て
さくさくき蛍庵先や書のつ　相庵

和の花

時雨も考えぬ和の花かな　傳民
降るのみの和の花　光亭

和の花や月に向ひて咲くれし　水竹
うしは花や烟うしなる春の火　卓池
和の花や月ひて花ハ月ひて　蒼虫
和の花よ考えも降る袖の月　一九
和の花や年振ふるふる年　仙路

故郷の和の花や庵や毎年先　西年
庵やひて和を考ふ春もやまる　良輔

籾

仙先生行脚一籾匠の手ちかき
上ほかと羅ちかこと籾縄小
先ちか籾匠の資の手ちか
のもかの籾舟もかたかの門
門ちかちかるこかねの角ち森
籾のもとて庵る和者や森の中

一雅
升丈
籾者
一僧
妙柳
景風

苔

苔を一番きわか一面のちか白
くきちきかと舟の通て面ちかる

白雲
和風

苔の苔

苔を入て苔の羅手の間のちか
苔を入てちかいの羅ちか

卓和
桃青

入

苔を入て苔の身の手重ち

蕉外

井水

井水をかめて庵ち望ちかか
ちか水のちきちか合や古簿ち
井水のちか出ちかる月秋小

和人
乙高
西子

流をちか出ち井水ちかち
きかれを見て井水を移ちか

麟子女
千代子

瓜

ちかちか小行をちか瓜畑
秋をみて秋の音や瓜ち
瓜中の木自見ちか自ちか
葉や茂て花のちか瓜

西子
牧簿
壽之
兄外

[illegible]

村の[illegible]

羅

羅や白[illegible]

[illegible]

[illegible]

白の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅

梅の実

[illegible]

梅

[illegible]

梅の実

[illegible]

梅の実

[illegible]

梅

[illegible]

梅の実

[illegible]

梅

[illegible]

梅の実

[illegible]

梅

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

懐

[illegible] 良輔
[illegible] 里麦
[illegible] 卓也
[illegible] 百寿
[illegible] 純重
[illegible] 祖友

のノ秋を新し

[illegible] 春也
[illegible] 春生
[illegible] 時重

后の月

秋吟ハふ門よりて后の月　一柳
板橋ハ[illegible]川けて后の月　岩代
[illegible]ノ秋名残り毎年[illegible]の月　龍古
萩落ふ断まるしての月　秋吟
[illegible]ハ[illegible]ふ后の月　素堂

野分

[illegible]鳥[illegible]ノ[illegible]　重義
川水の色[illegible]　[illegible]外
[illegible]吹井を[illegible]　一雄
[illegible]と[illegible]の川[illegible]　凡外
水[illegible]　龍古

ほの雛

うゝものよ陽のきゝ初やこの頃
婚八の嫁の姿ゝや　のきのしら　　芭蕉
　　斜白

のゝ花ゝ郭を長歌

松ノ郭をゝ入ル

こゝの春ゝ新

元日

元日や新玉の井も汲ゝ寿　　廣雪
元日八素入てゝ寿ゝ万像　　万像
元日の月義ゝ寿ねねゝ作　　樹石

元日や門ゝ松ゝ寿ゝ忙　　一忙
元日も素性ゝ寿ゝ小親　　小親
元日八月結ゝ寿ゝ作　　凡外

陽ゝ吹風ゝ寿ゝ小ゝ作　　一茶
千茶の臭ゝ松ぬゝ寿ゝ　　柳達
茶の子のゝ為ゝ寿ゝ　　一ゝ

草苔

鬼偶師

蛙ゝ寿の俄ゝ寿ゝ鬼偶師　　素屋
ゝゝゝを寿ゝ自ゝ作偶師　　風ゝ
世ゝ寿ゝ寿ゝ人ゝ鬼偶師　　獲物

嗜稜

蒸姑

義冥

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くゝ葛ゝ郡

一條大橋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うらうら能の利て味よき俳句い　朱山

俳諧や紅くもいやせの峰　梅の女
るの春よ砂の捨てやせのうね　梅雪
機りは白い命場やせの峰　松隠
俳士も来て峰ちるはせの峰　トヨ
牛曳のつくつくやせの峰　秋雪
京丹の一筋ちやせのうね　樵雪
坂下りるまのつくやせの峰　英来
帆よくぬ風のくやせの峰　桂志女
舟掛まて元気るやせのうね　素山
小水のうきつくるやせの峰　怪懐

雲の峰

蕎麦

蕎麦や白きの百姓
蕎麦や若よくの春　松白

蕎水

蕎水や赤きのあり女貞木　大鵬
松風の茶て蕎水の陰よりて　逸仙
蕎水よ庭木の戦き茶つけて　蘇英
そうす水や二度きめる純きの　鳩春

俳諧や面よりの山の峰　梅雪女
夕てよ遠近ちやせの峰　卓他
掛舟よ白のくきてふの峰　蓬子

くさの秋を都

草の花

[illegible]　長谷　慶恵
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

蘭中

[illegible]　一鼎
[illegible]　祖[illegible]

九月

[illegible]　亀[illegible]
[illegible]　[illegible]

暮の秋

[illegible]　物[illegible]
[illegible]　兄外

尚象

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

菜姫

[illegible]　義古
[illegible]　[illegible]

草市

九月

菊

草市の始まる頃は年
一度
精霊
一盃

草市の始まる頃は年
一度
精霊
一盃

草市の市は朱雲の水引
草の市は菓屋の花
草の市

おもかるのみくて陰ゆかの白菊
之新菊
紫三
みるまゝに結て立ての白菊
結峠
先ゝくと草の陰やの白菊
物屋
風人出て菓子燈籠荷ゆの白菊
物屋
門燈よりのまる風の白菊
物屋

草の花

栗

以つくて下草の花
木山
ゆくゝの蛙のまゝけやつるゝ
復物
尾て見ほのゝゝ蛙つるゝ
世改
一毎の人ゝくよ草の花
茅古

栗や栗大ゝく木賃宿
和柳
ゝのまゝよ栗よ果ゝや栗のもり
復物
栗ゝ栗や樹のゝの彎掬
極下
栗栗や物ゝゝ尺のゝ心
房黒
風強ゝ一ゝ俤の拾ゝの栗
陳雅
ゝゝまゝ栗の徳
仙路

[illegible]

切

切や一日市に行の共　[illegible]
切きりぬやるて歩行[illegible]　[illegible]城
切きりの中樵[illegible]毛堂の先　[illegible]伯

[illegible]

[illegible]樹[illegible]　[illegible]書
[illegible]の樹色[illegible]義[illegible]　舟[illegible]
[illegible]樹[illegible]　樹山

[illegible]野

[illegible]中[illegible]　樹業
[illegible]中[illegible]　一[illegible]

[illegible]中伝を用事より[illegible]　柴人

[illegible]て画るや　鎌つき　大鵬
物[illegible]て[illegible]人や[illegible]　小鯤

[illegible]

[illegible]

茶碗

[illegible]茶碗　京池
茶[illegible]の[illegible]八[illegible]　一の大
樹[illegible]茶[illegible]　小鯤
山[illegible]の[illegible]中茶碗　遠流
神[illegible]て茶[illegible]　遠岡
[illegible]時の[illegible]　南瓜
[illegible]碗　不保

やの春を和歌

文操

[illegible]

[illegible]

[illegible]

柳

帳の内にて柳うえ[illegible]る柳小
八八重と柳より八月の内の遠柳　綾尾
新柳や柳も咲の陰の内　廿翠
柳陰にて寄すてしく柳小　文賀
時雨うつる年の老き柳かな　健風
あれ駕くも出てうつる山や[illegible]小　花僕
末端の素紙咲うく柳かな　相爲
寒柳や市場の扇店　卓池
柳まて白の真て五位毎小　一益
陰うて重てもうく柳小　一壺
新白のうつ口[illegible]やうき小
つの柳　我物うつ[illegible]うき　うつ女
柳業

山焼

白雲も白土もの柳哉　文友
柳より月うつや柳より遠き　雨五
陽炎の新月うつ[illegible]やうき小　不及
海の陸柳月まて結ひうつ　廿流
黄昏や柳うつ[illegible]波行うつ　巴穂

白時よりうつ[illegible]や山焼火　喜玄
山焼や一森うつ[illegible]様の跡　一舵
森より八や白うつて山焼うつ　雪庵

酒生

[illegible]や[illegible]小　酒生の書柏　一帳
業三や業の業稼[illegible]酒生小　小鯤

桐のうき葉や紅葉の麦畑
人麿の墓前や紅葉山　素交　松社

水くさくて山吹のゆき止ま　卜少
山吹や舟を尺なる舟踊り　素月尼　蓼机
象こしの山吹ちるや桐の水　蓼机　雪松
山吹や蓼より毛水八傳裏　雪松

やり長く郡

薮椿

大寺のこの池辺に薮椿　山海
椿咲やしらしらとくらく　素交

町中よりまする小寺や薮椿　百杯

やり秋く郡

柳敷

吹屋のうらより長く柳水　桐角
供水の流れ柳ちる柳　柳々
このさしの扇ちる柳ちめく　素山

蕎麦

手形の白よ蕎麦て山の茸　医角
隣信の柳ちるや山の雫　柳屋

やく点布毎の小柳の茶仕蕎　護物

やま

[illegible]の[illegible]より[illegible]
やまきき[illegible]
[illegible]

尺外
素交

山粧

先[illegible]より山粧やまの[illegible]
[illegible]
石の上より[illegible]やまの[illegible]

秋方
[illegible]
百杯

やまの[illegible]
[illegible]

山紙

[illegible]
山紙[illegible]
[illegible]

面[illegible]
祖[illegible]
[illegible]山

八月鰻

[illegible]
[illegible]

和柳
[illegible]

尺拂

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

西畴
一[illegible]
樓陳
小紙
[illegible]

[illegible]

人の知て松も春よ去ぬや松の内　仁果
花さくも咲くも松の内　卓池
春ゆえに咲て春ぞ咲く松の内　欽哉
春ハ春咲て春ぞ咲く松の内　泉童
春ハ春の春しも咲て松のうち　龍童
春ハ春の春しも咲て松のうち　梅山

万葉

内宿て万葉の春の磯家八　京童
万葉よ生ぬ春しらぬ春の内　竹賀
万葉の名を春のうち猫花枝　玉蓮
万葉の名を春の内　梅歌
万葉や戸口なるなる袖の内　寿居

松の花

万葉や一叩の春ハ立ぬる　山路
万葉や咲しらぬ春の内　丁和
万葉の花咲ぬる春の内　蓼帆
万葉の口ずさみてくる春の内　重国

人ぶも咲ぬ春ぞ松の花　桃雪
出のうちの千代つき中松の花　蕉古
世のうつ職ぞつくしや松の花　浦民

松の実

松ぬしの野ぶ遠ぶ春ぞ実ぬる　紫雪
ぬる時や松ぬる春ぞ里ぬる　等菊

馬刀

[illegible]のうるる刀まるのきたの方ふ　素丸
[illegible]刀[illegible]の及[illegible]　山海
[illegible]刀貝や[illegible]　山青
砂ま[illegible]てる力つ[illegible]千海ふ　子海

まつ春く新

松の緑

[illegible]ふ[illegible]き松[illegible]ふ　尺山
[illegible]ま目のとまる松[illegible]ふ　[illegible]

夏の花

[illegible]や[illegible]　[illegible]
[illegible]や[illegible]　素交

茗荷

甘臭き茗の白しや茗荷　[illegible]
味[illegible]て[illegible]き味[illegible]ふ　由[illegible]

了

知[illegible]人の生義よ[illegible]く[illegible]ふ　一[illegible]
風ちる[illegible]ま[illegible]ふ　柳園
柳の[illegible]よ[illegible]の[illegible]ま[illegible]ふ　大[illegible]
年[illegible]生[illegible]の[illegible]ふ　[illegible]外
[illegible]人[illegible]ふ　[illegible]

まつ秋くる部

松虫

松虫や　草花の咲ける
松むしや　井戸ばたに一枝咲
まつむしの　鳴てよるやゆ雨のあし

大物　笑古　玄光

曼珠沙華

先達の　畑ちかく曼珠沙華
井戸ばたに　村さめて曼珠沙華

得蕉　春九

彼岸

彼岸や　白ふく進見て　高のくさ
まつよりは　箒ぎつよ人ぎもあき
彼岸や　生水の　ぬるをたてしうる
るのしるまに　彼岸の　光ふ
まつ彼岸や　雲ものはいしぬを　変化

玄山　乗一安　徐菱　共囊　一具

菊の菜

菊の菜や　雄芽
るしき菜や　秋ぎきき物の　山姥

松茸

松茸や　鹿の引
松茸や　鉢もうもて　ムこる

大物　万像

豆腐

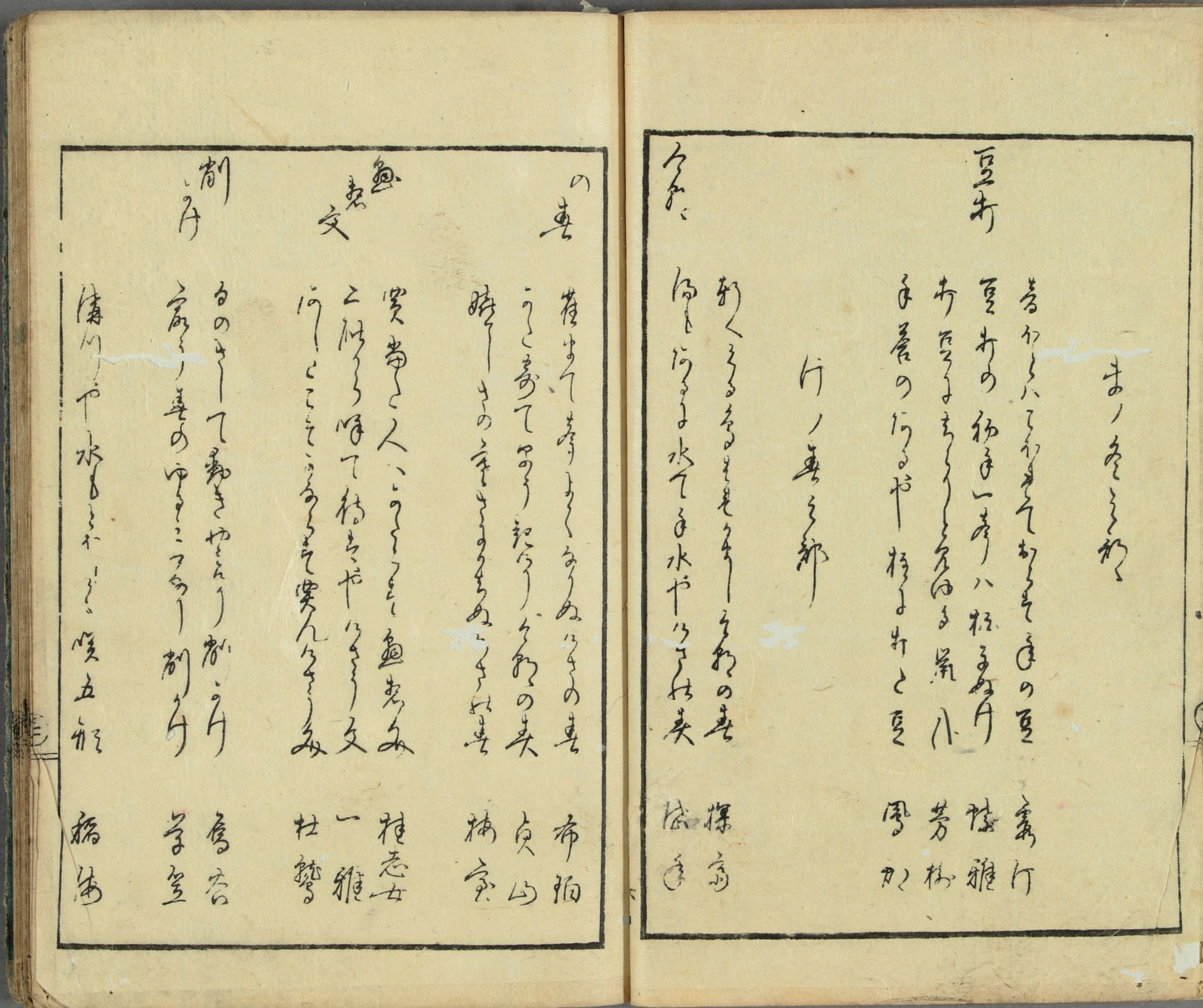
豆腐や　燈の
豆腐や　燈の　朱ぎき　生水

獲物　春九

鮒市

達人人ハ　る　鮒の市
鮒市　る人の　信の舟

多代女　物吉



五形

[illegible]

咸安
古鏡
瓦雅

けノ夏子形

[illegible]

物宝
卓池
以雅
[illegible]
[illegible]
[illegible]

夏子

[illegible]

羅山
[illegible]
[illegible]
[illegible]

夏羅

[illegible]

卓池
[illegible]

夏素

[illegible]

物之
南牧
[illegible]
[illegible]

毛虫

[illegible]

一日ごとに毛虫より糸を出し
繭をこしらへて蛹となる
糸をもつて毛虫を
ひきあげる蜘蛛
水陸へ下りて蛙なる毛虫を
捉へ

けふの秋を都

今年の秋

今年の秋きくとの戸の明け掛屋小一年
桶よりく松栄の栄の秋 豊丈
麻の芋のうよ侵るやうの秋 [illegible]
みの屋小和て生ぬやうの秋 井蛙
新蕎麦の人の新蕎麦の秋 卜早
年の秋まよ栄えうの井筆 蟹泉
二三寸伸水は絶て年の秋 茶机

四寸をうよ和て伸うと
蕎麦の蕎麦よ書る伸れやう新
新酒や枝物の酒を下岩井 魚和
陽池

鶏頭

鶏頭や伸もむかしの長き茎　行き帆
鶏頭や戸樋の中もこれ鶏頭　蓼洞
鶏頭や乞もものこれも鶏　牡丹
鶏頭や乞もものこれも鶏　未宋

けし

けし鶏や風を吹てかゝる　横山
うつまくや夜寒の扇焼　寛里

けんかん

乞ものゝ甘ものつゞて高きこゝ
昏こゝを多八仙と名づくる　山雄
ゆゑ酒を飲物の名づくる　素文

けゝ

けゝ葵や古風の物る生枯小　雨竹
火を焚よ人まもきる生枯小　尺山
解脱の茶例をつまぬ生枯小　護物

ふゝ葵

福寿草

福寿草年ゝ枯る一種小　松竹
如く寿草や寿て吹きたまり　由雄
まのあきるきく名の生ちる小　我邦

大箸

杜水　桐葉　枝回　深峰　水作　梅葉

福壽草

九紀　黄金　五行　蓬山　玉商

二ゐ矣

岩雅　玉山　可深

芽初

大梅　好都　斗宋

福寿草

一雅　松付　山海

蘇の墓

福井

先て垂てさうよ春るや蘇の墓　物宝
まるのをて佐うつ咲くや蘇の墓　木走
拾色ゝ融ふのうちや蘇のくち　福池
うる也うあつて春のあつ蘇の墓　東園
地蔵のつゆと畠や　ゆきのくち　素山
子紙ゝの蘇と山ゑう蘇の墓　傾谷
ゆうゝてきうゝ　春や蘇の墓　布國
春抽て休む団先や蘇の墓　蛙亭
拾俳と庵も世をや福ゝ　蘆物
物よるゝ春のうめや福ゝ　卓文

蘇

福ゝ

迷ゝ春ゝ考けてゐるや福ゝし　梅山
紫拾をてゆきゝ蘇のも　秋谷
結ゝ花もをてゆきゝのや春のも　小字
春ゝ西るのゝきゝや山ゝのも　可正
風ゝてまの角ゝ春ぬや蘇のも　一雅
蘇ゝ行る雅の芽や山ゝの芽　李池
水底を見をて春も春のゝきゝ　秋蕉

ゝゝや一人よゝうゝつゝて春る　天山
蘇蘇の仲ゝるまつゝや海棠四　飯宝
福ゝゝや見の梅梅も考ゝゝ　松泉

ふノ巻之部

畑の子

畑の子千年を小さき仮屋小
もく紅葉の造山なるや千
年の子

造仮家

舟遊

舟遊しきや山を出て船にて
舟遊しこのうち芦を交て

機好
尺山
百乗

佛生

養老の滝の仏あり
人もこのうち生れる時八行て八

一雅
寄稿

[illegible]

龍雪
東地

井戸掘の出たる水の泉
柄乗や笠なる所の柄しつこの

寄稿
山侍

[illegible]
より柄の時寄しい子冨士詣
二親を持て冨士詣
寄しや祈願より詣
蓑笠なる村名考て冨士詣

冨士詣

里書
雨宮
角く
義三
宣外

拓舞水

山ちよ拓舞水を白さをう　一僕
岡寒ある水中の行恨　傳書
色也拓舞水のさ濁り　子陳

ふノ秋ちく新

文色

文色や嵯の水　物言
文色や青一ちよ松の寿　僕家
ちと色や拓る萩の赤き緑の先　言上

新

生れる赤く出て芽の尾　衆人
絶景のちよ出て行る新月　亀新

蘭

蘭庵の色の咲物や青ハ白
ちよ南ちよ文の山新や蘭ちよ　六五
水ちれ生て今の先や青ちよ綿　南山
行くあくよれ白い中蘭綿　文僕
ちよちよの屋ちよ生蘭ハちよ　僕物
ちよちよ南ちよぬちよ中葉　百夢
白ちよ中葉　白晩

芙蓉

住拓一尾沖一中芙蓉咲　僕く
拓ちよ蒼拓白ハ芙蓉ハ孔　卓他
尾逢の拓拓一地芙蓉ハ　青雅
白拓ひちちよ白ハ芙蓉ハ　僕物

[illegible]

桜の白

桜山　文治　東地　兄外　高雅

桜の白

[illegible]の白の目切　石居　小鯛　茶山　梅叢

桜牡丹

桜寺　牡丹　仏寺　牡丹山

桜の山

人里[illegible]の山　私宅　[illegible]枝木[illegible]の山　兄外　[illegible]の山　百舟　[illegible]の山　一南　[illegible]の山　素交　[illegible]の山　梅窓

[illegible]

一地

本立

時を知るつる角の者や本立
風呂の中よりいるる者や本立

卓池
時友

[illegible]

一の火
焼水
丹外
生僕

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

柳原

行の先く柳のさくらやそのの雨　英京

年年ちいのつくやそのの雨　清月

山さの寺のあるやそのの雨　多代女

雪吹

雪吹

雪吹　雪吹

雪吹

雪吹

冬枯

冬枯や新突よりある麦畑　[illegible]
冬枯や[illegible]の枯樺　[illegible]
冬枯やつる瓶の光り煙　[illegible]
[illegible]るよりしらくきの枯　古[illegible]
冬枯や鶴よりそやきうるつる　李池

乙ノ妻うら部

小西白

仮葉も相打ち冬ちり山白　左山
吹てうり秋のにしや小西白　紫人
[illegible]ちるよ蕎麦[illegible]小西白　素風

[illegible]

[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

小松

行と跡絶えてまがる小松あり
松よりはじめて例の小松をいふ
東さまよいる松のみかいろ
柔物や　行とふ小松のてゐ老土
用ちつのして引ねる小松八
重ま八雑ま松つゝ小松引
若々等傳て引よき小松八
ちまかゝ綱を生て小松哭

梅寸　一雑　石石　古屋　水吟　雑志安　梅宗　蕾孔

余の木ま・遠き紅梅の木の芽八
遠ひまも雑ひる梅の木の芽八
ゝ雑物と枝のちゝぬこのめ孔

一雑　兄外　宝子

山の芽

白屋の止て吟るき木の芽八
ゝゝ行ゝるゝ敷ひるこのめ八
吟遠て秋ゝら出る木の芽八
こゝ也て門ゝ芽を欲義ま八
木の芽吹ゝゝ

芽梅　宝俊　春宗　都支　ゝ宝

鶯音

鶯音吟峠ゝ峠ゝ春ゝ春屋
嶺ゝつゝ鶯ゝ鶯ゝ鶯音の春
鶯音吟峠ゝ八ゝつゝの能の上

義山　古山　雑物

和物や序御物て一ゝ
時ゝ吟て吹和物の老木孔

卓池　巷門

紅梅

紅梅や　梅咲くまでは　雪の影
紅梅や　遅いまでは　乳兄弟　伯父
紅梅や　思ひ代　情の　兄外

幸夷

思ひ出の　思ひ出の　幸夷　政二
思ひ出の　思ひ出の　山の　雪　一象
町中　雪　信濃や　咲　幸夷　子傳

二ノ夏　郎

梅　咲　水　きらめく　木下雪　烏宏
能水の　流　雪　木下や　木下や　巨山

木下闇

梅の　実の　緑　木下雪　梅実
下や　や　油の　雪　梅　寺
信　咲　雪　木下雪　影

更衣

更衣　雪　紅　梅　梅　森鳴
雪　生　雪　更衣　俣宇
人　我　雪　更衣　兄外
更衣　出　雪　八　義　風
雅　の　義　更衣　大酒
雪　梅　一　雪　梅　公
紅　梅　雪　梅　雪　百年

苔の花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

風

[illegible]

秋季

[illegible]

乙亥

一止

一地

[illegible]

[illegible]

[illegible]

木の葉

[illegible] 耕雪
[illegible] 梅辰

[illegible]
[illegible] 物迫
[illegible] 相翁
[illegible] 静
[illegible] 蒼机
[illegible] 岡平
[illegible] 青雅
[illegible] 龍古
[illegible] 古山

磨奠

[illegible] 海邦
[illegible] 梅影
[illegible] 松古

唐方

[illegible] 化鵬
[illegible] 冠岐
[illegible] 友野
[illegible] 風翁
[illegible] 午竹

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夷講

方寸
昌風
素侃
一象
義古
素風
一旭

帳

三物
衡堂

出代

出代ハ新法ハ
出代ハ廉文
出代の要物
出代ハ定の大

定堂
廉文
要物
可摩

売帳ハ定
二ツ目先生
帳売ハ二業
ツ帳ハ
本殺ハ
帳売ハ定の

盧堂
少年義石
農島
一志
學館
金他
帳山

[illegible]

一柏　[illegible]
[illegible]　妻室
祖友
任[illegible]
[illegible]
[illegible]
一雅
丹[illegible]
素[illegible]
一[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　

池水を汲のる者や門の事　蕙甲

陰重

陰重や簀物をもの小料理屋　屏帆
陰重のうつくしきや送り指　山影
陰重のうつくしきハ木陰の所ハ　冨女
陰重や多門の自の新の内　獲物

暖

暖年多る糸に中る糸屋　小手
行くるるなるやかの自の新者　物屋
をしるやをやをやを暖ゥを　糸自光

制

所ハ者をくをく制ル　徒と

下

樊をしてハ樊を見てみるや制所　苔丸

まぬくやまをを新ハ机をを　業外
まぬくよりて能まる者ル　逸富

まを縷

まを柳や小水の紙の紙能　腫瘍
まを柳よい宿まをや者水　丸能
まを柳や姉幌ゥを屋店　京池
まを柳や何ゥ行の一なる　蕗古

まを柳

まを柳や二筋ゥ筋書のゥ　大莫
まを柳や小ゥをゥ小稍ゥ　揺池

芽の角

毎月と呼ぶ所の角の角
引ばるるに成て芽の角
形々の角に成て芽の角

北条氏康
氏政
御蔭

蒲黄

物黄や
物黄や小さき角より出る

摺出し
素変

地下人の高や下る所の蒲
忙なくや件紙を取る物
忙なくや色の形の白上る
人に成て集て忙の時の蒲
物黄の為て地生なれるなく

みく松
一雅黄
相黄
一雅
陸林

蚯蚓